

令和元年 11月14日

▼タイトル

饗庭野演習場における日米共同訓練について（市長コメント）

本日、陸上幕僚監部広報室より来たる12月1日から13日までの間、饗庭野演習場で実施されます日米共同訓練の概要が発表されました。

饗庭野演習場におきまして実施される日米共同訓練は、今回で17回目となりますが、訓練にはMV-22オスプレイの参加が予定されており、饗庭野演習場では本年2月に続き、1年間に2回の訓練となります。

私といたしましては、防衛問題は、一義的には国の専管事項と考えておりますが、我が国を取り巻く様々な国際情勢の中で我が国固有の領土を守り、そして日本の平和と安全を願う思いは、市民はもとより国民全体で共有しなければならないテーマであり、また沖縄県の基地負担軽減問題も共有すべき課題であると考えますとともに、これまでから日米共同訓練の実施に際しましては、国が責任を持って万全の安全策を講じる等の約束もいただいていることなどの状況を総合的に勘案し、地元、高島市長として反対するものではないという判断をしているところであります。

しかしながら、饗庭野演習場における陸上自衛隊の訓練におきましては、平成27年7月の重機関銃跳弾事故の発生以降、昨年11月には81mm迫撃砲の着弾事故、続いて本年9月に同じ81mm迫撃砲を用いたIR照明弾のパラシュート等演習場外落下事案など、市民生活の場に直接危害を及ぼし、地域住民に大きな不安を与える、大変憂慮すべき事故が連続して発生する事態となっております。

今回の日米共同訓練につきましても、これまでの様々な経緯を十分踏まえ、政府の責任において、安全管理に万全の措置が講じられることが絶対条件であることは勿論のことであり、そのためにも直ちに防衛省をはじめ関係機関等に対し要請をしておりますことといたします。

市民の皆様に置かれましては、何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

▼問い合わせ先

○所 属：企画広報課 藤田、中田

○電話番号：0740（25）8130 ○ファックス：0740（25）8101